

病院 だより

企画発行：利根中央病院地域連携室

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1

電話 0278-22-4325(直通) FAX 0278-22-4393

URL <http://www.tonehoken.or.jp/>



「とんかつの店 客席からの片品川」 内科医師 深澤 尚伊



理念と方針

理念 安心と安全 参加と協同
患者中心のチーム医療

- 方針
- 救急体制の充実、いつも安全確認、絶やさぬ笑顔
 - 診療情報提供と共に作る診療計画
 - 広げよう 人と人との結びつき
すすめよう 健康づくり まちづくり

◆内科外来紹介

内科外来は現在、8人の常勤医師による一般外来とそれぞれの専門外来に加え、群馬大学を中心に応援に来ていただいている非常勤医師による専門外来で構成されています。

利根沼田は高齢化の進んだ地域であります。前橋、高崎の病院まで行かずして専門医の外来治療が受けられる様に、体制を整えております。



内科部長
原田 孝

また、本年4月、鈴木諭医師の赴任を機に、総合診療科を立ち上げました。

プライマリケアの充実と各専門分野との橋渡しの役割を担い、さらに地域のニーズに応えられますよう励んでおります。



※2014年8月現在の専門外来の一覧です。ご参照ください。

項目	月		火		水		木		金		土	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	
総合診療							○					第1・3・4・5
糖尿病・内分泌		○		第1・3			○	○	○			
もの忘れ		○										
神経内科			○	○								
血液内科		○										
呼吸器			○	○		○	○		○			
消化器			○		○							
肝臓				○				○				
循環器	第1		○		○		○		○			○
腎臓・膠原病	○		○			○						
CKD外来										○		
ピロリ												第1
禁煙外来						○						
フットケア外来							○					

- 毎月第1土曜ピロリ外来では、病理科の大野順弘医師により、1次、2次の除菌に失敗された患者様の3次除菌を中心に、保険外診療を行っております。
- 禁煙外来は2011年1月の開設以来、180人の患者様に対応させていただき、担当看護師の奮闘により、禁煙成功率7割以上を保っています。水曜午後になります。
- フットケア外来は木曜日の午前です。糖尿病の患者様を対象に、専門的な講習を受けた糖尿病療養指導士により、糖尿病専門医や皮膚科医師と連携をとり、足の観察やケアを行なうことで重症化の予防に役立っています。

- 睡眠時無呼吸症候群につきましては、特別な枠を設けておりません。呼吸器科・循環器科医師の管理のもと、約100人の患者様がCPAPを使用されています。火曜を中心に午後入院、翌朝退院のポリソムノグラフィ検査入院を施行しております。睡眠時無呼吸症候群を疑われる患者様がいらっしゃいましたら、内科外来までご相談ください。
- 待ち時間の少ないスムーズな診療を目指し、2013年9月、「予約コーナー」を開設しました。複数の科を受診される患者様や、通院支援システムを利用されている方々の予約調整にも取り組んでいます。それでも、予約の合間に新患や予約外の患者様の診察をする現状では限界があります。医師を確保し、新患枠を作ることが懸案です。

糖尿病教室

内科外来では2012年5月より、毎週木曜日午後3時から患者様の待ち時間を利用して、15～30分程度糖尿病教室を行なっています。

患者様は誰でも無料で参加することが可能です。看護師・栄養士・薬剤師・リハビリが交代で教室を開催しています。

糖尿病についての基本的なことや季節にあったテーマ、体を動かす体操や、ゲーム形式にしたりと患者様が楽しく学んで頂けるよう工夫をしています。

最近の内科外来のテーマでは《糖尿病ウソ・ホントゲーム》や《カルタで学ぼう》などがあります。



外来師長補佐
増田 綾



《カルタ》…ぐんま糖尿病カルタ
(群馬県糖尿病療養指導士の会・グメスの会が患者様に糖尿病の正しい知識を学んでいただけるようにとカルタを作製)

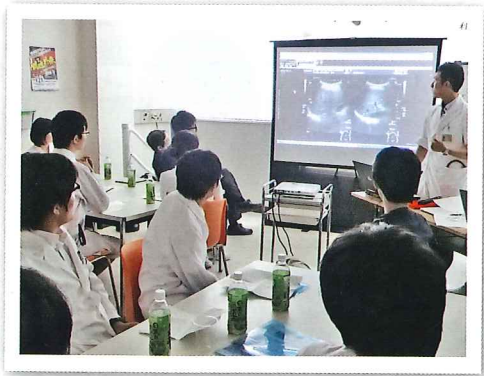
教室ではテーマとは違う質問や疑問もお答えすることも出来、患者様から大変ご好評頂いております。

闘魂外来

実施報告



医局事務課
水野正敏



8月21日(木)、JCHO総合診療教育チームリーダーの徳田安春先生を講師としてお招きし、群馬県初の「闘魂外来」を開催しました。

闘魂外来とは、患者様のご協力を得た上で指導医の見守る中、医学生が主体となって外来診療の一連の流れを全て行う医学生の中ではとても有名な実践型臨床実習です。

県内外から熱き医学生10名が集結し、9時から闘魂外来がスタートしました。学生の皆さんは、緊張した様子でしたが、真剣に臨床実習に取り組んでいました。

午後は学生の皆さんが自分が経験した症例をプレゼンし、参加者全体でカンファレンスを行いました。

学生を主体とした非常に実践的な臨床実習となりました。今後も年に2回程度実施していく予定です。





医学生のご感想

今日1日の経験は大変勉強になりました。

初診をとるところから始まり一通りの身体診察を終えた後、検査とそのdiscussion、さらには入院の判断まで行なえる機会は初めて体験させて頂きましたが、非常に面白くexcitingでした。

大学の実習でこのような実習を行うことは絶対に出来ません。事実、今日の実習は、ポリクリと比べて時間の経過が数倍早かったです。また、今日の実習は自分の未熟さを痛感する1日でした。同じ班になった先輩方や研修医の先生方のレベルの高さを目の当たりにし、1年後、2年後に自分も同じレベルに達する事が出来るよう頑張ろうと決意を新たにしました。

午後の徳田先生を交えたカンファレンスも刺激的でした。

夏休み明けのポリクリを益々頑張ろうというモチベーションが上がってまいりました。このような素晴らしい機会を設けてくださり、誠に有難う御座いました。

問診からプロブレムリストの作成、鑑別疾患を挙げ検査のオーダーをするといった本格的な実習が出来てとても勉強になりました。

実際に患者さんを目の前にすると適切な質問をするのが難しかったり、どの情報が重要なか選びにくかったりと戸惑うこともたくさんありました。

カルテ記載もほとんど初めてで、SOAP形式で素早く情報整理するという良い経験が出来ました。

大学の臨床実習では指導医の先生にもなかなか相談が出来ない状況で、学生の意見を言う場もほとんどないのですが、これから求められる参加型臨床実習では今回のような実習が大切だと思います。

他の学生が経験した症例を聞く事も出来て、より多くの事が学べました。



外来診療の経験はあっても、鑑別・評価・計画・治療まで考慮して診察を行なったことはありませんでした。

診療内容を上級医にプレゼンすることもまだ経験不足であったため、とても勉強になりました。今後の良い指針となりました。

ラインをとる実習も、今まで研修医の先生相手に1回しかやったことがありませんでしたが、救急の患者さんに実施させて頂くことが出来、研修医の先生のアドバイスで非常に上手く出来ました。

この経験は生涯忘れないと思います。次回も開催があれば是非参加させて頂きたいと思います。有難う御座いました。

実際に限られた時間内で鑑別・検査・治療の計画を立てるということで大変勉強になりました。机の上で紙に向かっているのと、診察室の中で様々な事を同時に考えて組み立てていくというのは全く勝手が違い、上手く出来ないことばかりでした。しかし、徳田先生に実際にお会い出来て、患者さんに対する対応や、幅広い分野の知識を集約されて診療に役立っているお姿を拝見して、一歩でも近づきたいと思いました。

自分の知識がいかにか足りないか、ということを知ったのでもっともっと頑張りたいと思います。とても充実した時間を過ごす事が出来ました。有難う御座いました。

研修医の1日

初期研修医
田坂 元宏



7:30 出勤

職員寮を出発します。
病院までは徒歩で10分程です。



8:00 電子カルテチェック

病棟スタッフ全員で集まり、入院患者様の状態を電子カルテでチェックします。先輩医師からレクチャーを受けたり、毎週土曜日にはカンサーボードに参加しています。



9:00 病棟巡回・回診



受け持ちの患者様のカルテ準備、診察を行ないます。

OPE後の患者様のガーゼ交換、採血などを行ない、電子カルテに診療内容の記載を行ないます。



12:00 昼食

医局にて昼食。束の間の休息の時間です。英気を養い、午後に備えます。



13:00 手術

助手として様々な症例に立ち会います。CV挿入や胸腔穿刺、腹腔穿刺等の手技や手術の執刀も指導医のサポートのもと、実践しています。1日に複数回手術に立ち会うこともあります。



研修医 インタビュー

初期研修医
田坂 元宏



利根中央病院の研修の特徴は、自分で研修の形をつくり上げることだと思います。

最初からきっちりとスケジュールが組まれていると、忙しさに流されて自分の勉強が出来ないと思い、私は初期研修に利根中央病院を選びました。実際に研修が始まってから自分に足りないもの、医師として必要なことがわかってきました。

軌道修正しつつ、自分の道を模索できる環境が利根中央病院にはあります。

17:30 電子カルテチェック



再び病棟スタッフ全員で集まって電子カルテのチェックを行ないます。入力漏れはないか入念にチェックします。

19:00 帰宅

今日も1日お疲れ様でした。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014ぐんまへ 参加しました！

2014.10.11(土)12:00 ~ 12(日)12:00
群馬県総合スポーツセンター

がん患者さんからの
メッセージ



G-FIVEと一緒に♪

全体の参加者は 6,100人
がん経験患者さん 130人
募金は431万円集まりました。



参加団体 64チーム



お揃いの黄色ポロシャツで
横断幕をタスキに
元気に行進しました！



感動のフィニッシュ！

群馬県がん診療連携推進病院として、「がんになっても安心してかかれる病院づくり」を目指します。

利根中央病院研修センター Facebookページを開設しました!!

今年度より利根中央病院研修センター facebook ページを開設しました。研修医の日常の様子や研修関連の行事・イベント等の情報を掲載しています。ホットな情報をどんどん更新していきますので是非ご覧下さい。Facebookページへは当院ホームページトップページよりアクセスできます。



シリーズ
新病院
建設 No.6

「夢をかたちに」
 新病院建設進捗状況について



新病院建設事務局長
 布施正子

新病院建設は7月に鉄骨建方が終了し、外装、内装工事も徐々に始まってきました。建設現場事務所内に設置された「病室モデルルーム」には、組合員、職員延べ408名の方が足を運び、病室について具体的に確認、意見交換を行いました。出された意見を参考に療養環境の整備を図っていききたいと思います。

内部的な論議も進み、新病院での業務拡大を見据えてHCU4床、入退院センターも既存病院内で稼働し始めました。入退院センターでは、予約入院患者様へのオリエンテーションや患者基本情報を外来の段階で実施・把握する事で、入院生活のスタートをスムーズに導くことは勿論の事、退院を見据えたMSWや退院調整看護師の早期介入へと繋げていきます。

今後もハードとソフトの両面から、より充実した新病院建設をすすめていききたいと思います。



建設中の新病院

～編集後記～

秋も深まり、朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。

冬の気配を感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

この度病院便りをリニューアル発行致しました。豊富なトピックスを盛り込み、皆様楽しんで読んで頂けるよう作成したいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

写真は利根中央病院駐車場から職員が撮影したものです。

澄みきった秋の空に架かった虹は、思わず時間を忘れて見入ってしまう程美しいですね。

